

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2015-12-01

No. 71



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: ドローンの普及: IEC の標準化活動との関係: バッテリー、MEMS、センサー	3
IEC: 新規格リスト	5
ISO: 新規格リスト	7
国際テーマ: UNECE: 電気車両安全に関する非公式作業班第三次進捗報告書	9
国際テーマ: 湾岸協力会議 (GCC)、電気機器の新規則を明確化	11
国際テーマ: 南アフリカの電気製品の試験・承認要求事項 — どこへ向かうのか?	12
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	13

USA: FCC: 将来のワイヤレス技術のため 24 GHz 超え周波数スペクトル使用を推進	14
USA: FCC: 補聴器の両立性規格: 規則制定提案の通知: ボリューム調節機能等	15
USA: FCC: KDB: ワイヤレス充電用バッテリーカバーの SAR 評価の試験手順は?	16
USA: DOE: エネルギーラベル規則: エアコンラベル、ユニットでなく包装上に要求等 ..	17
USA: DOE: エネルギーラベル規則の修正を提案: 新ラベルデータベース要求事項等 ..	17
USA: DOE: ディスプレイ基準 Ver 7.0: 新基準の確定について	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	21

EU: 玩具安全指令の整合規格リスト更新	23
EU: 新規の ETSI ガイド EG 203 336: RED 必須要求事項の整合規格への盛り込み方 ..	23
EU: 玩具安全指令 2009/48/EC: グレーゾーン製品に関する No.4 ガイダンス文書	25
EU: 委員会、車による大気汚染排出のロバスト試験に関する加盟国の協定を歓迎	26
EU: CENELEC: 新規格リスト	27
EU: ETSI: 新規格リスト	31

中国: CQC: 家庭用及びこれに類する電気機器の EMC 認証業務開始に関する通知	32
中国: CQC: 風力タービンシリーズ製品の認証規則の改訂に関する通知	32
中国: CQC: 風力タービン用軸受け認証業務の開始に関する通知	33
中国: CQC: 機器の重量によって嵌合するケーブルの強制認証に新規格を実施	33
中国: CQC: 空気清浄機の除菌、浄化、省エネルギー、環境保護の認証	33
中国: 新規格リスト	34
台湾: 新規格リスト	34
韓国: 電磁両立性試験方法(エミッション、イミュニティ試験を統合)案の意見募集	35
韓国: 航空業務用無線設備の技術基準の一部改正 (案) 行政予告	36
韓国: 電気用品安全管理法施行規則が改定され、一部の製品が規制緩和	37
韓国: 電気用品安全管理運用要領の改正告示	38

総務省: IEC: 情報通信技術分科会配付資料: CISPR における最近の審議状況(1/2)	39
総務省: 情報通信技術分科会: 超高精細度テレビジョン放送システム等の高画質化 等 ..	41
総務省: 高周波利用設備の型式の指定に係る条件の一部改正等	42
総務省: 電波法施行規則—無電極放電ランプからの妨害波の許容値及び測定法の見直し— ..	44
厚生労働省: 【医療機器】: 基本要件基準の改正につきまして (その2)	44

ちょっといっぷく: 小クイズコーナー 低電圧指令と EMC 指令の適合宣言書と技術文書13	
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	22
社長の独り言	45

IEC: ドローンの普及: IEC の標準化活動との関係: バッテリー、MEMS、センサー

IEC e-tech October 2015

- ドローン技術のほとんどは、携帯電話などの消費者向け機器のために開発されたコモディティエレクトロニクスに由来するものである。ドローンにはまた、GPS ユニット、ワイヤレストランスミッター、シグナルプロセッサ、マイクロエレクトロメカニカルシステム (MEMS) ジャイロスコープおよび加速度センサーが必要である。
- 現在ドローンに特化した安全規格は比較的少ない。しかしながら、バッテリー、MEMS およびその他センサーなど実質的に全ての部品が IEC 国際規格の対象となっている。

UNECE: 国際テーマ: 電気車両安全に関する非公式作業班第三次進捗報告書

電気車両安全に関する非公式作業班第三次進捗報告書 中国、日本、アメリカ合衆国及び欧州連合代表により作成

- 本報告書は、非公式作業班(IWG)、及びのその9つのタスクフォースの重要技術分野の進捗に関する更新を、報告する。
- 本 gtr は、高電圧電気安全、電気差し込みなど電気部品、及び、特に燃焼可能な電解質 を含むものである再充電可能なエネルギー貯蔵システム(REESS)を、その内容としている。規定は、使用中及び衝突後両者時の、電気車両の安全を、取り扱う。本報告書は、採択後、1998年協定の条項に従い gtr に追加される。

国際テーマ: 湾岸協力会議 (GCC) の電気機器の新規則の明確化

- 湾岸協力会議 (GCC) は、標準化機構である GSO を通じ、7つの GSO 加盟国、すなわち、サウジアラビア、UAE、クウェート、バーレーン、カタール、オマーン及びイエメンで販売される低電圧電気製品に関する共通の湾岸技術規則、を導入した。

USA: FCC: KDB: ワイヤレス充電用バッテリーカバーの SAR 評価の試験手順は？

- ガイダンス添付文書 「特定のワイヤレス充電用バッテリーカバーを持つハンドセットに対する評価と承認の考察事項」を参照

USA: DOE: ディスプレイ基準 Ver7.0 : 新基準の確定について

- 2015年10月5日、EPA はディスプレイ基準関係者に向けて、バージョン7.0 基準の確定版を配信した。なお、本バージョン7.0 基準は、2016年7月1日の発効が予定されている。

EU: 新規の ETSI ガイド EG 203 336: RED 必須要求事項の整合規格への盛り込み方

- 「EG 203 336: 電磁両立性及び無線スペクトラム事項 (ERM); 指令 2014/53/EU の第 3.1(b) 条、及び 第 3.2 条をカバーする整合規格の制作のための技術パラメータの選択に対するガイド」の発行が準備されている。受信機要求事項も規定するよう要求。

総務省: IEC: 情報通信技術分科会配付資料: CISPR における最近の審議状況 (1/2)

- 情報通信審議会 情報通信技術分科会 (第 112 回) 配付資料・議事概要・議事録が公開されている。その中の、資料 112-1-2 電波利用環境委員会報告から、「別紙 1 CISPR における最近の審議状況」を報告する。
- 内容は、昨年の CISPR フランクフルト会議後から本年の CISPR ストレイザ会議前までの約 1 年の間に行われた主な審議の状況。

社長の独り言

2015年11月23日
濱口 慶一

今年は暖冬になるのでしょうか？三重の方は、日が沈むと15度くらいに気温が下がりますが、日中は暖かい日が多いように感じます。季節の変わり目に体調を崩されないように、御自愛下さい。

趣味の日本蜜蜂の飼育ですが、夏の異常な暑さに巣が溶けて巣落ちという事故に遭い、2群が自然に帰って行きましたが、3群が未だに元気に頑張ってくれています、そういう蜜蜂の元気な姿を観ていると、人間として彼等が集めてきた蜜を横取りするような行為をどう思うか考えても正当化出来ず、日本蜜蜂の蜂蜜って美味しいですね、とか今年はまだ取らないのですかとの質問に答える言葉がありません。多分このまま蜂蜜採集はしないで年を越すだろうと思います。しかしながら、今年も当地に来られた北海道からのプロの養蜂家の方の、蜂蜜を採ってやらないと逃げるよとのアドバイスが脳裏に浮かびます。

この秋には大きな変化がありました、それは、毎年多数のオオスズメバチの襲来に悩まされるのですが、今年は春にオオスズメバチの女王蜂の駆除に徹したお陰か、秋に日本蜜蜂の巣箱に来て、蜜蜂を捕食することが殆どありませんでした。農家の方のスズメバチに刺される事故も無かったときいていますので、私の駆除が少し地域に役立ったのかもしれませんが。

自宅付近は度会茶で有名な所なのですが、最近、お茶を飲まれる人が少なくなったようで、彼方此方で、お茶畑があった、ちょっとした山肌が太陽電池パネルに変わっており、10年前に自宅の用地として観た時とは大きく様変わりして、将来田舎暮らしをとの思いを大きく変えられたような、複雑な思いの最近です。毎朝観ていた山が形を変えていくのを残念に思っています。

さて、時間の経つのは、光陰矢の如しといわれるように、今年も早く後一月になりました。皆様は年初めの計画通りに物事は進みましたでしょうか？私は、年の初めの計画項目を15%程度の実現で年末を迎えそうです。やりたいことが多すぎたのでしょうか？やりたいことが多いのに、なかなか行動に表さない、行動しない自分がいるようです。つつい日常の煩雑な事柄に終始してしまい、将来を見据えた行動が出来なかったと反省ばかりですが、一年は過ぎてしまいました。初老の私には貴重な365日なのですが、時の波にも十分乗れなかったと反省しきりです。私はどうも昔から、三日坊主でも良い、何度も三日坊主を繰り返しておれば、そこそこ成長出来ると思込んでいるような所があり、その性格が未だに出ている気がします。まあ、長い時間を掛けての自分の哲学めいた考えはそう簡単に変えられないし、変える気もないしと、今迄のやり方を残された自分の時間との戦いにしていこうかと居直っています。頑固親父になりつつあるようです。

頑固というとは何か違った理解もあるようですが、私は業務の中では製品安全に関して、自分の判断基準をキチンと持ち、どのような状況下でも理論を崩さない、崩れないが、他人の意見も受け入れる柔軟な論理をスタッフには持って、日頃の業務にあたって欲しいと指導しています。私は来年はスタッフに、業務を通じ、また個人的に勉強して入社以後3年くらいで社内でのナンバーワンはなれるように、そして知識や経験を積み努力して実現したスタッフはドンドン世界に打って出る、出られる人材にしていきたいと考えています。国内の製品安全の関係規格がIEC規格とほぼリンクしてきた今こそ、圧倒的に国数の多いヨーロッパ地域のIEC規格への思いを早く理解して、国内のお客様の製品開発や設計に活かして頂ける情報を早く入手したいと思うからです。来年の事を言うと鬼が笑うといいますが、製品安全業界に少しでも貢献したいと願うからです。

それでは皆様、良いお年をお迎えください。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2015-12-01 (No. 71)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2015 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。